

# 平成31年（令和元年）度 教育行政評価シート（自己評価）NO. 20

主要事業名	スポーツ活動，スポーツを通じた交流の推進					作成日	R2.6.15
						担当課名	スポーツ推進課
						担当者名	飯塚 俊行
事業の性質	法定受託 事務	自治事務 (義務)	○	自治事務 (任意)	○	市民サービス	管理経費
事業期間	単年度	年度繰返し		期間限定		建設事業	その他
						年度から	年度まで

## 1 事業の位置づけ

①第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画における位置づけ				②第三次鹿嶋市総合計画後期基本計画における位置づけ			
基本方針	6	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進		基本目標	1	スポーツでつながるまちづくり	
体系項目	(1)	幅広い年代が楽しめるスポーツ・レクレーション活動の推進		基本政策	1	笑顔あつまるスポーツのまち	
個別施策	①	スポーツ事業の開催と体験する機会の提供		基本施策	1	スポーツ交流の推進	

根拠法令等	スポーツ基本法，第三次スポーツ推進計画
-------	---------------------

## 2 事業概要（Plan）

事務事業の概要・背景	<ul style="list-style-type: none"> <li>国体の開催やオリンピック開催で市民のスポーツへの関心が高まっている。このことを契機にスポーツ実施率の向上や健康志向の高まりをさらに向上させるために、公民館単位において健康づくり教室を開催し、より多くの人にスポーツに関心をもってもらう。</li> </ul>
目的（事業の目指すところ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ実施率の向上（市民の1週間当たりのスポーツ実施率50%以上）を目指す</li> <li>オリンピック種目やパラリンピック種目に触れ合っただき、普及促進，スポーツの楽しさを知ってもらう。</li> </ul>
目的達成のための手順	<ol style="list-style-type: none"> <li>①スポーツ大会や健康づくり事業の開催</li> <li>②障がい者指導者の育成講座及び障がい者が参加可能な教室の開催</li> <li>③スポーツカレッジの開催</li> <li>④「かしま SPORTS NAVI」の運用</li> </ol>
国・県・他自治体の動向，又は市民，その他の意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として，国を始め，国民，団体，企業等の「スポーツ」への関心がさらに高まっている。</li> <li>茨城県では，令和元年茨城国体開催を契機に，スポーツに対する関心意欲をさらに高めるとともに，健康，体力の保持増進と競技力向上に取り組んでいる。</li> <li>市民からスポーツ環境の充実についての要望が多い。</li> </ul>

## 3 数値目標と実績（Do）

数値目標	目標内容	単位	H31（R1）年度 （実績）	R2年度 （予定・見込）	R3年度 （予定・見込）	R4年度 （予定・見込）	R5年度 （予定・見込）
		スポーツ指導者認定者（養成講座受講者）	人	14	20	25	30
	成人スポーツ実施率	%	47	48	50	51	52

投入コスト	全体計画		H31（R1）年度 （決算額：千円）	R2年度 （予算額：千円）	R3年度 （計画額：千円）	R4年度 （計画額：千円）	R5年度 （計画額：千円）
	事業経費	指導者研修会，養成講座		115	350	350	350
エンジョイスports in 鹿嶋			0	50	50	50	50
スポーツ振興事業補助金（鹿嶋市体育協会）			5,000	4,500	4,500	4,500	4,500
（鹿嶋市リトル・シニア協会）			150	135	135	135	135
健康づくりスポーツ教室			150	150	150	150	150
合計			5,415	5,185	5,185	5,185	5,185
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他（参加者負担金）						
	一般財源		5,415	5,185	5,185	5,185	5,185
従事職員数	正規職員（フルタイム勤務者）		5	5	5	5	5
	その他職員（再任用（短），嘱託職員等）		1	2	2	2	2

4 具体的施策評価 (Check) 主要事業名:スポーツ活動,スポーツを通じた交流の推進

「事業実施に直接関連する指標」、「成果に関する指標」、「執行工夫・日常業務改善の取組」は、以下の3段階評価を行う。A:予定を上回る B:概ね予定通り C:予定を大きく下回る

具体的施策名	達成目標 ※指標別に具体的目標(値)を設定		事業実施に直接関連する指標に係る評価 ※何を行ったか	成果に関する指標に係る評価 ※どれだけの成果が上がったか	執行工夫・日常業務改善の取組に係る評価	個別事業実績評価
	事業実施に直接関連する指標	成果に関する指標				
①スポーツ大会や健康づくり事業の開催 【比率: 60%】	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区公民館(10館)での健康づくり事業</li> <li>高齢者スポーツの祭典</li> <li>スポーツチャレンジコーナー運営</li> <li>地区対抗ソフトバレーボール大会</li> <li>サッカーフェスティバル</li> <li>塚原ト伝武道大会</li> <li>鹿嶋市駅伝大会</li> <li>ビーチサッカー大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり事業40回開催</li> <li>高齢者スポーツの祭典300人参加</li> <li>スポーツチャレンジコーナー参加500人</li> <li>地区ソフトバレーボール大会参加200人</li> <li>サッカーフェスティバル参加100チーム</li> <li>武道大会参加50チーム</li> <li>駅伝大会参加180チーム</li> <li>ビーチサッカー大会参加20チーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり事業43回開催</li> <li>高齢者の祭典351人参加</li> <li>スポーツチャレンジコーナー550人参加</li> <li>ソフトバレーボール大会127人参加</li> <li>サッカーフェスティバル101チーム参加</li> <li>武道大会144チーム参加</li> <li>駅伝大会158チーム参加</li> <li>ビーチサッカー大会21チーム参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくり事業は、参加者も多く開催も予定より多くできた</li> <li>スポーツチャレンジコーナーは、ラグビーW杯の影響もあり大勢の参加あり</li> <li>ソフトバレーは、会場変更により参加減少</li> <li>駅伝大会は地元チームの参加が減少</li> <li>武道大会は大会期日が固定できないため減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(評価をふまえた改善点)</li> <li>健康づくり事業は、身近な地区公民館で開催のため気軽にスポーツの参加してもらえるので、今後も継続拡大していきたい。</li> <li>次年度以降の駅伝大会に代わるスポーツ大会等の開催へ向けた調査研究を行う。</li> </ul>	個別事業実績評価点: 45 [課題] 各事業、イベントの周知方法の拡大が必要。
②障がい者指導者の養成講座及び障がい者が参加可能な教室の開催 【比率: 10%】	<ul style="list-style-type: none"> <li>パラスポーツ(ポッチャ)講習会</li> <li>スポーツコンベンションの開催</li> <li>エンジョイススポーツin鹿嶋の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポッチャ講習会300人参加</li> <li>スポーツコンベンション参加100人</li> <li>エンジョイススポーツin鹿嶋参加300人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポッチャ講習会5回305人参加</li> <li>スポーツコンベンション150人参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポッチャ講習会参加者の250人以上が初経歴で、パラスポーツの認知度を向上できた。</li> <li>スポーツコンベンション参加者のオリンピックへの機運の醸成を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(評価をふまえた改善点)</li> <li>来年開催のパラリンピック種目のポッチャをさらに普及するとともに、同じパラスポーツの車いすバスケットや車いすラグビーの愛好者も居ることから対応施設の整備も進めたい。</li> </ul>	個別事業実績評価点: 6.5 [課題] オリンピック種目など、一時のブームに終わらないよう継続して、普及促進を図れる取り組みが必要。
③スポーツカレッジの開催 【比率: 20%】	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツコーディネーター(スポーツカレッジ)の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツカレッジ受講者50人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かしまスポーツカレッジ: 145人参加認定者14人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに14人のスポーツ指導者が認定された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(評価をふまえた改善点)</li> <li>少年団活動やスポーツ指導者の減少に歯止めをかけるさらなる施策や事業の取り組みが急務である。</li> </ul>	個別事業実績評価点: 13 [課題]
④「かしまSPORTS NAVI」の運用 【比率: 10%】	<ul style="list-style-type: none"> <li>専用ホームページ「かしまSPORTS NAVI」の運用、管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SPORTS NAVI アクセス者数10,000件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SPORTS NAVI アクセス者数18,890件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>18,890件のアクセスがあり、スポーツのまちかしまに関心を持ってもらえた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(評価をふまえた改善点)</li> <li>さらに多くの情報の提供が常に出来るよう、こまめに更新を行う。</li> </ul>	個別事業実績評価点: 9 [課題]

5 総合評価結果に基づく対応 (Action)

総合評価方法	具体的施策別の比率に、事業実施に直接関連する指標(3割)・成果に関する指標(4割)・執行工夫・日常業務改善の取組(3割)の割合及びそれぞれの判定による率(A=1.0,B=0.65,C=0.4)を乗じ、個別事業実績評価点を算出する。その合計点数をA~Cの区分により総合評価とする。			合計点数	73.8	A:合計点数が80点超 B:合計点数が50点超80点以下 C:合計点数が50点以下	総合評価結果	B
実績	社会情勢や財政、他市での取り組みなどを考慮し、事業の取り巻く環境と事業の現状について記入してください。 ・平成31年度には、市民の新たなスポーツ活動の拠点となる屋内温水プール「いきいきゆめプール」がオープンし多くの市民の利用や統合した5つの小中学校の水泳授業において利用がされた。また、国体の開催に合わせて多くの市民ボランティアや中学生の発案によるおもてなし事業、小中学学生の全校応援、オリンピック開催に向けて機運の高まりによるパラスポーツの普及など市民のスポーツに対する関心が高まった。							
充実、現状維持、見直し、休止・廃止	充実	理由	・オリンピックの開催が1年延期となったが、市民のスポーツに関する関心は高まってきており市民のニーズに応えられるような取り組みを今後さらに充実していく必要があるため。					
課題	継続する場合、現状認識を踏まえた課題について記入してください。 コロナウィルス感染拡大予防対策を講じるため、大勢が集まる事業やイベント等の開催が大変難しい状況であること。							
改善策	課題に対する改善策について、期限や具体的な数値などを記入してください。 感染拡大の状況を見極めながら、段階的に開催していきたい。							

# 平成31年（令和元年）度 教育行政評価シート（自己評価）NO. 21

主要事業名	茨城国体の開催・スポーツ環境の整備充実					作成日	R2.6.15
						担当課名	スポーツ推進課
						担当者名	飯塚 俊行
事業の性質	法定受託 事務	自治事務 (義務)	○	自治事務 (任意)	市民サービス	管理経費	
事業期間	単年度	年度繰返し	○	期間限定	建設事業	その他	
					平成29年度から	令和元年年度まで	

## 1 事業の位置づけ

①第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画における位置づけ		②第三次鹿嶋市総合計画後期基本計画における位置づけ	
基本方針	6	基本目標	1
	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進		スポーツでつながるまちづくり
体系項目	(3)	基本政策	1
	スポーツ環境の整備・充実		笑顔あつまるスポーツのまち
個別施策	①	基本施策	1
	広域的な大会に対応できる施設整備		スポーツ交流の推進
根拠法令等	スポーツ基本法		

## 2 事業概要 (Plan)

事務事業の概要・背景	昨年開催のリハーサル大会を経て、2019年に茨城県で開催する第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」において、鹿嶋市ではサッカー競技（成年男子・少年男子）を実施するにあたり、その開催準備を進める。 試合数：成年男子16チーム16試合，少年男子：24チーム24試合
目的（事業の目指すところ）	第74回国民体育大会におけるサッカー競技の開催成功と、国体開催を通じたスポーツに対する市民の機運醸成を図り、鹿嶋市で開催されるオリンピックへの機運醸成につなげることを目的とする。
目的達成のための手順	①第74回国民体育大会サッカー競技の開催 ②専門委員会会議を開催し、国体開催に向けた各種計画，要綱などの策定について，委員である関係団体や関係者と協議を図っていく。 ③記念イベントの開催や各地域イベントでのPRを行い，機運醸成を図っていく。
国・県・他自治体の動向，又は市民，その他の意見等	茨城県において2回目の開催であり，県内全市町村において協議を実施し，全県的なスポーツを活用した盛り上がりを図っている。

## 3 数値目標と実績 (Do)

数値目標	目標内容	単位	H31 (R1) 年度 (実績)	R2年度 (予定・見込)	R3年度 (予定・見込)	R4年度 (予定・見込)	R5年度 (予定・見込)
		PR活動実施	回	20	-	-	-

投入コスト	全体計画		H31 (R1) 年度 (決算額：千円)	R2年度 (予算額：千円)	R3年度 (計画額：千円)	R4年度 (計画額：千円)	R5年度 (計画額：千円)
	事業経費	第74回国民体育大会鹿嶋市実行委員会負担金		135,000			
内訳：総務費		10,503					
競技会場運営経費		61,208					
会場設営費		59,947					
歓迎接伴運営費		3,342					
	合計		135,000	0	0	0	0
財源内訳	国県支出金		62,921				
	地方債						
	その他(参加者負担金)						
	一般財源		72,079	0	0	0	0
従事職員数	正規職員（フルタイム勤務者）		10				
	その他職員（再任用（短），嘱託職員等）		2				

4 具体的施策評価 (Check) **主要事業名:茨城国体の開催・スポーツ環境の整備充実**

「事業実施に直接関連する指標」、「成果に関する指標」、「執行工夫・日常業務改善の取組」は、以下の3段階評価を行う。A:予定を上回る B:概ね予定通り C:予定を大きく下回る

具体的施策名	達成目標 ※指標別に具体的目標(値)を設定		事業実施に直接関連する指標に係る評価 ※何を行ったか	成果に関する指標に係る評価 ※どれだけの成果が上がったか	執行工夫・日常業務改善の取組に係る評価	個別事業実績評価
	事業実施に直接関連する指標	成果に関する指標				
①第74回国民体育大会サッカー競技の開催  【比率: 80%】	開催推進計画や年次計画に基づき、各競技団体と連携し、スムーズな競技会運営を行う。	開催推進計画に基づく大会開催・運営	・成年男子:9月30日~10月3日 16試合開催 ・少年男子:9月29日~10月3日 24試合開催	・成年男子:優勝(茨城県) ・種目別:総合優勝(茨城県) ・花いっぱい運動 個人、団体(1,515個) ・学校観戦3,906人	(評価をふまえた改善点)	個別事業実績評価点: 80 [課題]
②専門委員会会議を開催し、国体開催に向けた各種計画、要綱などの策定について、委員である関係団体や関係者と協議を図っていく。  【比率: 15%】	必要に応じた専門委員会を開催し、国体開催に向け準備を進める。	・総務、企画専門委員会1回 ・競技、施設専門委員会1回 ・宿泊、交通、衛生、警備専門委員会1回	・総務企画専門委員会開催5/21 ・宿泊、交通、衛生、警備専門委員会開催5/23	・総合案内所利用:218人 ・運営ボランティア:54人 ・各競技場売店:7店 ・弁当軒数:2,924食 ・宿泊者数3,988人	(評価をふまえた改善点)	個別事業実績評価点: 9.8 [課題]
③記念イベントの開催や各地域イベントでのPRを行い、機運醸成を図っていく。  【比率: 5%】	茨城県で2回目の開催となる第74回国民体育大会の開催機運の醸成を図るために、市内のあらゆるイベント等において国体開催のPRを積極的に行う。	・各地区公民館での炬火リレーの開催 ・大会開催100日前イベントの開催 ・KASHIMAキッズダンス応援隊によるPR活動	・各地区公民での炬火リレーの開催 ・大会開催100日前イベント開催6/23 ・鹿嶋市教育会陸上記録会でのPR等 延べPR活動40回	・おもてなし事業2,000食 ・観覧者数17,666人 ・協賛:200万円(16社) ・手作り応援のぼり旗:208本 ・PR用絵画コンクール応募401点	(評価をふまえた改善点)	個別事業実績評価点: 5 [課題]

5 総合評価結果に基づく対応 (Action)

総合評価方法	具体的施策別の比率に、事業実施に直接関連する指標(3割)・成果に関する指標(4割)・執行工夫・日常業務改善の取組(3割)の割合及びそれぞれの判定による率(A=1.0,B=0.65,C=0.4)を乗じ、個別事業実績評価点を算出する。その合計点数をA~Cの区分により総合評価とする。		合計点数	94.8	A:合計点数が80点超 B:合計点数が50点超80点以下 C:合計点数が50点以下	総合評価結果	A
実績	社会情勢や財政、他市での取り組みなどを考慮し、事業の取り巻く環境と事業の現状について記入してください。 近隣の大会においては、台風等の影響を受け大会日程を短縮したり中止となった競技もあった中、鹿嶋市のサッカー競技においては大会期間中晴天に恵まれケガ等もなく無事に開催できた。サッカー競技においては、成年男子が優勝するなどの活躍により種目別総合優勝を果たした。運営面においては、国体初の取り組みとなった中学生主体によるおもてなし事業に取り組み来場者をもてなすことが出来、大変喜ばれた。また、市内全小学生による全校応援を行い1校1県応援を行い、大会を盛り上げ関係者からも好評を得た。これらの取り組みが大会に参加した子供たちの思い出となり、レガシーとして受け継がれ来年開催のオリンピックの機運醸成につながるものである。						
充実、現状維持、見直し、休止・廃止	理由						
課題	継続する場合、現状認識を踏まえた課題について記入してください。						
改善策	課題に対する改善策について、期限や具体的な数値などを記入してください。						



# 平成31年（令和元年）度 教育行政評価シート（自己評価）NO. 22

主要事業名	カシマスポーツセンターの改修					作成日	R2.6.22
						担当課名	教育施設課
						担当者名	小原 邦彦
事業の性質	法定受託 事務	自治事務 (義務)	自治事務 (任意)	○	市民サービス	建設事業	管理経費 その他
事業期間	単年度	年度繰返し	○	期間限定	令和元 年度から	令和4 年度まで	

## 1 事業の位置づけ

①第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画における位置づけ		②第三次鹿嶋市総合計画後期基本計画における位置づけ	
基本方針	6	基本目標	1
	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進		スポーツでつながるまちづくり
体系項目	(3)	基本政策	2
	スポーツ環境の整備・充実		健康で活みなぎるまち
個別施策	①	基本施策	1
	広域的な大会に対応できる施設整備		スポーツ活動の推進
根拠法令等	スポーツ基本法		

## 2 事業概要（Plan）

事務事業の概要・背景	令和2年（2020年）の東京オリンピック開催において、本市にある県立カシマサッカースタジアムがサッカーの試合会場となり、当市のカシマスポーツセンターが関係者のオリンピックメディアセンターとして利用されることになった。当施設は、平成8～9年に竣工され、22年が経過している施設で、経年劣化による雨漏りが散見されたり、空調設備の老朽化や、トイレの洋式化、照明設備のLED化など多くの課題があった。
目的（事業の目指すところ）	メインアリーナ、サブアリーナで発生している雨漏りの解消をするため、既存の太陽光設備を撤去し、屋根をカバー工法で改修する。その他、利用頻度の高い1階部分のトイレの洋式化、空調設備機器の部分更新やオーバーホール、メインアリーナとエントランスホールの照明機器のLED化、給湯配管の更新を行い、メディアセンターとして使用される範囲の改修を行うものである。
目的達成のための手順	①メインアリーナ、サブアリーナの屋根改修工事の発注、②関連工事の発注（太陽光設備脱着工事）、③電気設備工事の発注（メインアリーナ及びエントランスロビーの照明LED化、非常用電源設備改修）④機械設備工事の発注（空調設備機器の改修、トイレ洋式化、給湯配管更新）、⑤上記4つの改修工事の監理業務委託の発注、⑥工事監督業務（工程会議、確認、立会い、検査）
国・県・他自治体の動向、又は市民、その他の意見等	国、東京都が中心となりオリンピック開催に向けて準備を進めている。茨城県や本市においても、機運醸成のためのイベント開催や道路などのインフラ整備を行ってきている。県と調整を図りながらオリンピックに向けての施設改修計画を立て、連携を取りながら準備を進めている。

## 3 数値目標と実績（Do）

数値目標	目標内容	単位	H31（R1）年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
			（実績）	（予定・見込）	（予定・見込）	（予定・見込）	（予定・見込）
	カシマスポーツセンター屋根改修	工事	1	0	0	1	0
	機械設備、電気設備の改修工事	工事	1	0	0	0	0

投入コスト	全体計画		H31（R1）年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
			（決算額：千円）	（予算額：千円）	（計画額：千円）	（計画額：千円）	（計画額：千円）
事業経費	委託料（設計委託料）		9,349	0	0	0	0
	委託料（工事監理委託料）		10,615	0	0	3,700	0
	工事請負費（大規模改造工事）		398,479	0	0	84,000	0
	工事請負費（維持補修工事）		4,481	0	0	3,000	0
	合計		422,924	0	0	90,700	0
財源内訳	国県支出金		0	0	0	0	0
	地方債		372,800	0	0	78,900	0
	その他(基金)		41,845	0	0	0	0
	一般財源		8,279	0	0	11,800	0
従事職員数	正規職員（フルタイム勤務者）		1	1	1	1	1
	その他職員（再任用（短）、嘱託職員等）		1	0	0	0	0

4 具体的施策評価 (Check) 主要事業名:カシマスポーツセンターの改修

「事業実施に直接関連する指標」、「成果に関する指標」、「執行工夫・日常業務改善の取組」は、以下の3段階評価を行う。A:予定を上回る B:概ね予定通り C:予定を大きく下回る

具体的施策名	達成目標 ※指標別に具体的目標(値)を設定		事業実施に直接関連する指標に係る評価 ※何を行ったか	成果に関する指標に係る評価 ※どれだけの成果が上がったか	執行工夫・日常業務改善の取組に係る評価	個別事業実績評価
	事業実施に直接関連する指標	成果に関する指標				
①カシマスポーツセンター屋根改修工事 【比率: 40%】	入札準備 施工状況の工事監督(工程、法令、工法の確認・立会い) 工程会議の実施 技術職員研修会の実施 検査立会い	メインアリーナ2,383㎡、サブアリーナ1,086㎡のカバー工法による屋根改修工事の実施。 ルーフィング、カラーガルバリウム鋼板 t=0.5	工事の監督業務(工程会議24回実施、中間検査3回実施)、その他、材料検査、施工状況確認(屋根材の加工、おさまり、)を行い、監督業務を行った。 評価: A	工程会議や立会いを行ったことで、無事故で設計書通り工事を完了させることができた。細部のおさまり、仕上げについても綿密に調整することができた。 評価: B	(評価をふまえた改善点) 工程会議や立会い、中間検査を随時行うことで、細部についても調整することができ無事故で工事を完了することができた。 評価: A	個別事業実績評価点: 34 [課題] 雨天の影響で工期延長はあったものの、課題であった雨漏りも解消し、施工者と連携した工事ができた。
②カシマスポーツセンター屋根改修関連工事 【比率: 15%】	入札準備 施工状況の工事監督(工程、法令、工法の確認・立会い) 工程会議の実施 技術職員研修会の実施 検査立会い	屋根改修工事に伴う既設メインアリーナ1,080枚、サブアリーナ300枚の太陽光パネル及びパネル架台の撤去及び再設置工事の実施。	工事の監督業務(工程会議24回実施、中間検査2回実施)、その他、材料検査、クリップ及び太陽光パネルの固定状況確認を行い、監督業務を行った。 評価: A	屋根改修工事と連携しながら工程会議や立会いを行ったことで、無事故で設計書通り工事を完了させることができた。 評価: B	(評価をふまえた改善点) 工程会議や立会い、中間検査を随時行うことで、細部についても調整することができ無事故で工事を完了することができた。 評価: A	個別事業実績評価点: 13 [課題] 太陽光パネルの固定方法も屋根を傷めない工法にしたことで安心な構造とすることができた。
③カシマスポーツセンター機械設備改修工事 【比率: 30%】	入札準備 施工状況の工事監督(工程、法令、工法の確認・立会い) 工程会議の実施 検査立会い	空調設備機器の更新、オーバーホール工事、給湯配管の更新工事、トイレの洋式化(男子7か所、女子12か所)、障がい者トイレの多機能トイレ改修工事の実施。	工事の監督業務(工程会議14回実施、中間検査2回実施)、その他、材料検査、配管気密性検査、試運転確認等の監督業務を行った。 評価: A	工程会議や立会いを行ったことで、無事故で設計書通り工事を完了させることができた。施工状況を確認することで随時細部を調整することができた。 評価: B	(評価をふまえた改善点) 大規模施設であるため改修に係る費用が膨大となることから計画的な改修が必要となる。最低でも3~5億円程度ずつ定期的な改修が必要である。 評価: B	個別事業実績評価点: 23 [課題] 48億円で整備された大規模な施設であり、今回、一部を改修した。設備全体の維持補修には今後も膨大な費用がかかるため計画的な予算計上が必要である。
④カシマスポーツセンター電気設備改修工事 【比率: 15%】	入札準備 施工状況の工事監督(工程、法令、工法の確認・立会い) 工程会議の実施 検査立会い	非常用蓄電池設備の更新、メインアリーナ照明設備のLED化、ロビーエントランス照明設備のLED化、トイレウォシュレット設備用コンセント工事の実施。	工事の監督業務(工程会議14回実施、中間検査1回実施)、その他、材料検査、照明照射角度調整、照度測定立会い等の監督業務を行った。 評価: A	工程会議や立会いを行ったことで、無事故で設計書通り工事を完了させることができた。 評価: B	(評価をふまえた改善点) 大規模施設であるため改修に係る費用が膨大となることから計画的な改修が必要となる。最低でも3~5億円程度ずつ定期的な改修が必要である。 評価: B	個別事業実績評価点: 11 [課題] 48億円で整備された大規模な施設であり、今回、一部を改修した。設備全体の維持補修には今後も膨大な費用がかかるため計画的な予算計上が必要である。

5 総合評価結果に基づく対応 (Action)

総合評価方法	具体的施策別の比率に、事業実施に直接関連する指標(3割)・成果に関する指標(4割)・執行工夫・日常業務改善の取組(3割)の割合及びそれぞれの判定による率(A=1.0,B=0.65,C=0.4)を乗じ、個別事業実績評価点を算出する。その合計点数をA~Cの区分により総合評価とする。		合計点数	81.3	A:合計点数が80点超 B:合計点数が50点超80点以下 C:合計点数が50点以下	総合評価結果	A
実績	社会情勢や財政、他市での取り組みなどを考慮し、事業の取り巻く環境と事業の現状について記入してください。 本市では、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うための基本方針である「鹿嶋市公共施設等総合管理計画」を策定し、平成29年3月に鹿嶋市公共施設等総合管理計画を策定した。その中で各所の計画耐用年数が示されており、屋根20年、電気設備(弱電)20年、空調設備15年となっており、おおむね20年で修繕をすることが望ましいとしている。本施設は平成8年~9年に整備された体育施設で、鉄骨鉄筋コンクリート造3階建て、建築面積9,998㎡、延床面積12,240㎡の施設である。状態としては築22年が経過し、雨漏りや設備関係(給湯配管、空調設備、照明設備等)の老朽化が散見されており、施設規模からすると部分的な改修ではあるものの、管理計画に基づいた改修を行うことができた。						
充実、現状維持、見直し、休止・廃止	現状維持	理由	今回は、約4億円をかけての工事ではあるが、屋根、設備関係も一部の改修であるため、計画的な改修工事が必要である。大規模施設であることから、部分的な改修でも、相当の工事費用が見込まれる。				
課題	継続する場合、現状認識を踏まえた課題について記入してください。 本施設は、当時48億円をかけて整備した施設である。管理計画に基づく大規模改修費は25億円がかかる見込みとなっており、財政状況が厳しい中、今後も計画的に改修工事を行う必要がある。今回の改修ではオリンピックのメディアセンターで使用する範囲の設備を主として改修を行ったため、全体の一部の改修にとどまっている。また、屋根改修工事Ⅱ期工事が残っており、照明設備については、大手照明メーカーが器具等の生産を中止としたことから、早急にLED化を進める必要がある。オリンピック開催年度の翌年度(令和4年度)に改修できるよう準備を進める必要がある。						
改善策	課題に対する改善策について、期限や具体的な数値などを記入してください。 計画的な改修を行うため、老朽化している設備を精査し、施設の維持に必要な工事費を算出する必要がある。一度には規模が大きい場合コンサルなどの専門家の意見を交え検討していく。						